

教 育 委 員 会 定 例 会 会 議 録

1 日 時

平成27年10月5日（月）

開会 9時30分

閉会 9時54分

2 場 所

教育委員室

3 出席委員及び欠席委員の氏名

出席委員 前田光久委員長、森脇健夫委員、岩崎恭典委員、柏木康恵委員、
山口千代己教育長

欠席委員 なし

4 出席職員

教育長 山口千代己（再掲）

副教育長 信田信行、次長（教職員担当）木平芳定、

次長（学校教育担当）山口颯、次長（育成支援・社会教育担当）中嶋中

次長（研修担当）中田雅喜

教育総務課 課長 長崎敬之、主幹 西川俊朗

教職員課 課長 小見山幸弘、班長 岡村芳成、主査 中西祐司

5 議案件名及び採択の結果

件 名	審議結果
議案第28号 平成27年度教育功労者表彰について	原案可決

6 報告題件名

件 名
報告1 平成28年度三重県公立学校教員採用選考試験第2次選考試験の結果について

7 審議の概要

・開会宣言

前田光久委員長が開会を宣告する。

・会議成立の確認

全委員出席により会議が成立したことを確認する。

・ 前回審議事項（平成27年9月16日開催）の審議結果の確認

前回定例会審議結果の内容を確認し、全委員が了承する。

・ 議事録署名人の指名

森脇委員を指名し、指名を了承する。

・ 会議の公開・非公開の別及び進行の確認

議案第28号は内容に個人情報が含まれるため非公開で審議することを決定する。

会議の進行は、公開の報告1の報告を受けた後、非公開の議案第28号を審議する順番とすることを決定する。

・ 審議事項

報告1 平成28年度三重県公立学校教員採用選考試験第2次選考試験の結果について（公開）

（小見山教職員課長説明）

報告1 平成28年度三重県公立学校教員採用選考試験第2次選考試験の結果について

平成28年度三重県公立学校教員採用選考試験第2次選考試験の結果について、別紙のとおり報告する。平成27年10月5日提出 三重県教育委員会事務局 教職員課長。

1ページをご覧ください。平成28年度の三重県公立学校教員採用選考試験の結果についてです。一次試験は平成27年7月18日に筆答試験（教養）、筆答試験（専門）及び集団面接等をさせていただきました。申込み3,234名に対して受験者2,927名、合格者は1,242名ということで、8月6日に1次合格として発表させていただいたところです。2次試験ですが、8月16日に論述試験を実施し、8月19日に技能・実技試験、8月21日から28日までの8日間、集団と個人の面接をさせていただきました。2次試験の受験者数、1,206名に対しまして、合格者514名ということで、当初、採用計画を策定した中身に沿った形で合格者を確保することができております。

内訳は、小学校教諭252名、中学校教諭133名、高等学校教諭が87名、特別支援学校教諭18名、養護教諭19名、栄養教諭5名の内訳でございます。合格者は前年度より21名増加ということで、基本的な部分で昨年度より少し採用計画を増やしておりますので、それに沿った形になっております。倍率は全体で5.7倍ということで、昨年度は6.1倍でしたので、少し競争率としては下がっておりますが、基本的な競争倍率は確保できたかと考えております。

特別選考の合格者についてご説明させていただきます。まず1つ目が、障がい者を対象とした特別選考ですが、これについては1名の合格となっております。

2つ目のスポーツ特別選考〔I〕につきましては、ソフトボール、バスケットボール、ハンドボール、ボートで募集しましたが、それぞれ1名の合格を確保しています。スポーツ特別選考〔II〕は、スポーツ特別選考〔I〕の4つの競技以外の種

目でオリンピック、世界選手権とか国体、全日本での入賞記録等を対象者とする特別選考ですが、5名について合格とさせていただきました。

社会人特別選考は、平成17年度以降、3年間の正規職員の経験のある方を対象とする選考ですが、7名を合格としました。教職員経験者を対象とした特別選考〔Ⅰ〕は19名。教職経験者を対象とした特別選考〔Ⅱ〕は、直近5年間で36月以上の講師の経験、又は昨年度1次試験に合格して、平成27年度4月以降、2カ月以上講師としてお勤めの方を対象としたものですが、これにつきましては120名の合格となっております。

詳細につきましては、2ページでございます。先般9月29日に最終合格を発表させていただいた際にお送りさせていただいた資料です。内訳としては以上のような形になっております。

簡単ではございますが、以上、報告とさせていただきます。よろしく願いいたします。

【質疑】

委員長

この件に関して委員の皆さんからご質問、ご意見よろしいですか。

岩崎委員

これは頑張っていたかなければというぐらいです。

委員長

私から2、3、お聞かせください。集団ないし個人面接です。8月21日から8日間にわたってということですが、受験者2,900名の方、全員やるわけですか。

教職員課長

2次試験に進まれた方の面接は1,206名で、1次試験で午後から面接をしておりますので、これについては受験者全員となります。

委員長

もし聞かせていただけるのなら、質問を面接官からされるわけですね。どんな質問がありますか。代表的な部分で結構ですが。

教職員課班長

一般的にはストレス耐性として、過去に自分がすごく苦勞して成し遂げたことについて、それをどのように具体的に自分がどんな役割で目標に向かって困難なハードルの克服に頑張ってきたのかということとか、あと、いろんなコミュニティの中で自分が積極的に行動した実績や自分とのジェネレーションの違うコミュニティでどんな活動をしてきたかとか、そういったところを中心に聞いています。

委員長

以前、この場でもテーマになったことがあると思いますが、精神的体力といいますか、いろんな学校の教室の中と言ったほうがいいのか、学校の中でストレスというんですか、自分のプランどおりにいかないことが多い。どんな職場でもそれはあると思いますが、そういうことに対して打ち勝っていく、自分自身あるいは集団で組織でという、この精神的体力はとても大事だという話があったと思いますが、社会に出てか

ら職場へ就いてから身につけていくものもあると思いますが、もともとその人自身が持っている性格といいますか、素養と言いますか、そういうのも大きいと思います。それをどんなふうに限られた時間あるいは限られた質問の中で評価するのかというのが、自分自身興味がありましたが、そのあたりになると結構難しいかと個人的には思います。

教職員課班長

今、委員長が言っていたストレス耐性を主に聞く質問を個人面接の時間の約半分ぐらいの時間を取る形で聞いているような状況です。具体的にやりとりしながら。具体的な部分を煮詰めていって、その部分をしっかりと聞くことを、最近の面接で一番中心にしているところでございます。

委員長

もう1点だけありますが、下のほうで教職員経験者の特別選考〔Ⅱ〕です。※印が付いている120名の、文字どおり教職を経験してみえるということで、年齢層は高いんですか。

教職員課班長

年齢層の部分は、過去5年間で3年以上ということですので、25歳からが一番低い方ですが、高い方は50歳以上の方も受けられていますが、そんなにたくさんではございませんので、大体20代後半から30代前半が8割ほどを占めていると思います。

委員長

そうですね。てっきり私は例えば定年でいったん終えられて、ものすごく教師としての経験やスキルを持ってみえる、それを活用させていただこうというイメージをしてました。

教職員課班長

それは教職経験者を対象とした特別選考〔Ⅰ〕のほうで、元々の教員がいったんご退職されて、その教職歴を持って応募できるというのが特別選考〔Ⅰ〕のほうでございます。この方は年齢層はかなり30代後半から40代後半、50代の方も三重県に帰ってきたいということも含めていらっしゃいます。〔Ⅱ〕のほうは、逆に講師の方が多いので、〔Ⅰ〕の方よりも年齢層が若い人が多いです。

委員長

ありがとうございます。よろしいですか。

—全委員が本報告を了承する。—

・審議事項

議案第28号 平成27年度教育功労者表彰について (非公開)

教育総務課長が説明し、委員審議のうえ決裁の結果、全委員が承認し、本案を原案どおり可決する。